



まちのひとこま

動鳴気峡桜まつり

ソメイヨシノなど約 300 本の桜が見られるスポットとして、毎年多くの人でにぎわう動鳴気峡^{どうめききょう}。3 月 30 日⑩には「動鳴気峡桜まつり」が開催され、高雄中学校吹奏楽部によるヒット曲の演奏などが繰り広げられました。撮影中、満開の桜の景色を思い思いに楽しんでいる姿が印象的でした



使われなくなった積み木に イメージを沸かせながら

3 月 20 日⑨、熊野古道なかへち美術館でワークショップ「つみきの灯台」が開催されました。講師は美術家^{かわのあい}の河野愛さん。参加者は河野さんの作品や制作についてのお話を聞き、積み木を使ったオブジェの製作に一生懸命取り組んでいました



作品の世界観を声で表現 大人のための朗読会

3 月 21 日⑫、たなべるで大人のための朗読会「朗読の楽しみ」が開催されました。朗読グループ「さくらんぼ」の皆さんが山本周五郎、さだまさし等の作品を、作品の世界観が伝わるように丁寧に朗読を行いました。参加者がじっと聞き入る様子が印象的でした



たなべっこ すまいる

5月生まれのお子さんを紹介します

就学前の6月生まれのお子さんの写真を募集中!!
締切りは5月10日㊤です



おおにし り た
大西 璃汰ちゃん (5歳)
秋津町



やまもと ゆ い と
山本 結翔ちゃん (1歳)
城山台



はたなか も か
畑中 望花ちゃん (1歳)
中万呂



わかふじなぎさ
若藤 渚ちゃん (3歳)
上秋津



のぐち れ い
野口 伶ちゃん (2歳)
上秋津



こぶし き り の
虎伏 紀莉乃ちゃん (2歳)
秋津町



かめだ りゅうと
亀田 琉斗ちゃん (1歳)
新万



みちした さ な
道下 然為ちゃん (5歳)
龍神村福井

アオハル 高校生レポーター - SDGs を考えて -

「生産者と消費者をつなぐ」

写真・文 熊野高等学校 寒川 竣介

産直市場の館長である船山和久さんふなやまかずひさに取材しました。産直市場は生産者と消費者との間に問屋などを通さないため、生産者の利益が多くなるほか、消費者にとっては生産地から直接送られ新鮮な品物が手に入ります。

また、消費者には生産者の名前や顔も見られるようになっているため安心して商品を買うこともでき、生産者にとっては商品を気に入ってもらえると再び買ってもらえます。産直市場があることで消費者と生産者の両方が喜んでもらえるような仕組みになっていることに気づかされました。

その他、生産者への販売情報の提供や食品ロスをなくすため、二次加工に回したりするなどの対策も行っているそうです。

産直市場は生産者と消費者のちょうど間の位置に立ち、私たちの生活と農業界を支えているということが分かりました。



新鮮な商品が並ぶ店内は、地元の方でとてもにぎわうそうです!

